

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名		ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワークの理論と方法(専門)a			選択	2	2	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
尾曲 あゆみ		講師控室	kyoumu		授業終了後に質問等受付	
授業の目的・概要		<p><目的>本科目では、支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしを行うための知識や技術、社会資源の活用や開発の意義と、ソーシャルアクションについて理解し、個別事例の具体的な解決・分析の意義や方法を理解することで、社会福祉士として多様化・複雑化する課題に対応するため、実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を習得することを目的とする。</p> <p><概要>教科書を中心にソーシャルワークにおける援助関係の形成やネットワーク形成、ソーシャルワークに関連する方法について解説する。理解が深まるよう事例を用いたグループワークや学生同士のディスカッションを通じて理解したことを言語化し、実践的な技術と知識が持てることを目指す。</p>				
授業形式・方法		<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・イベント <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他()		
学習上の助言		教科書や配布資料等を参考に授業外での学習時間を使って文献を調べるなど、授業外での学習も積極的に行うこと。特に用語については、基本的知識となるため自主的に理解を進めることが必須である。				
教科書		最新 社会福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法/編:一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書		指定参考書なし				
外部教材		なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	総合的かつ包括的支援について理解し、様々な場面におけるソーシャルワークについて説明することができる。			HSU(2)(3)、WP(2)(3)(5)		
②	援助関係の意義を理解し、援助関係の形成方法について説明することができる。			HSU(2)(3)(4)、WP(2)(3)(5)		
③	ネットワーク構築のプロセスを理解し、その手法について説明することができる。			HSU(4)、WP(2)(3)		
④	ソーシャルワークの実際を理解し、様々な支援の場面で必要な知識や役割について説明することができる。			HSU(2)(3)(4)、WP(1)(2)(3)(6)		
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)			
1	オリエンテーション(講義概要・講義の進め方・評価方法等)を行う。ソーシャルワークとは何かについて学ぶ。	講義 ディスカッション	シラバスを精読する 序章を精読する		4	
2	総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際 総合的かつ包括的な支援の考え方について学ぶ	講義 グループワーク	第1章第1節を精読する 事前課題に取り組む		4	
3	総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際 家族支援の実際について学ぶ①	講義 ディスカッション	第1章第2節を精読する 事前課題に取り組む		4	
4	総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際 家族支援の実際について学ぶ②	講義 グループワーク	第1章第2節を精読する 事前課題に取り組む		4	
5	総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際 地域支援の実際について学ぶ①	講義 グループワーク	第1章第3節を精読する 事前課題に取り組む		4	
6	総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際 地域支援の実際について学ぶ②	講義 グループワーク	第1章第3節を精読する 事前課題に取り組む		4	
7	総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際 非常時や災害時の支援の実際について学ぶ①	講義 グループワーク	第1章第4節を精読する 事前課題に取り組む		4	
8	総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際 非常時や災害時の支援の実際について学ぶ②	講義 グループワーク	第1章第4節を精読する 事前課題に取り組む		4	
9	ソーシャルワークにおける援助関係の形成 援助関係形成の意義と概念について学ぶ①	講義 グループワーク	第2章第1節を精読する 事前課題に取り組む		4	
10	ソーシャルワークにおける援助関係の形成 援助関係形成の意義と概念について学ぶ②	講義 グループワーク	第2章第1節を精読する 事前課題に取り組む		4	
11	ソーシャルワークにおける援助関係の形成 援助関係の形成方法と留意点について学ぶ①	講義 グループワーク	第2章第2節を精読する 事前課題に取り組む		4	
12	ソーシャルワークにおける援助関係の形成 援助関係の形成方法と留意点について学ぶ①	講義 ディスカッション	第2章第2節を精読する 事前課題に取り組む		4	
13	ネットワーク形成 1 ネットワークキングについて学ぶ	講義 グループワーク	第3章第1節を精読する 事前課題に取り組む		4	
14	ネットワーク形成 2 コーディネートについて学ぶ	講義 グループワーク	第3章第2節を精読する 事前課題に取り組む		4	
15	ネットワーク形成 3 ネットワークキングについて学ぶ	講義 ディスカッション	第3章第1節2節を精読する 事前課題に取り組む		4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照					

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合(%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		50	0	0	0	50	100	
総合力指標	知識・技術力	30	0	0	0	10	40	
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	10	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	10	20	
評価のポイント		評価の実施方法と注意点					フィードバックの方法	
評価方法	行動目標							
試験	①	✓	学期末に敵試験を実施して、科目内容の理解を評価する。 試験範囲は講義で用いた教科書、配布資料から出題するので、予習復習を行い理解度を深め、知識の定着を図ること。 試験形式(筆記試験) 問題形式(選択式、記述式)					Microsoft Teams にて試験解答例を提示する
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	グループワークを毎回行い、取組みの姿勢について評価する、 また毎回授業終了時にリアクションペーパーを提出してもらい、授業の理解度や学習意欲等を確認し評価する。					授業中および講義の最後に総評を行う
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
備考								
他 担 当 教 員								
教員の実務経験	社会福祉士として4年の実務経験。							
実践的授業の内容	シラバスの内容に沿って、教科書を中心に講義とグループワークを行う。教員がソーシャルワーク実践の中で得た知見を交えて科目内容を、できるだけ分かりやすく学ぶことができるように学習を進める。							
そ の 他	【履修についての条件】 ・社会福祉士国家試験受験を希望する者は必ず履修すること。 【受講する際の注意事項】 ・本科目は登校型授業であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る。 ・シラバス内容を講義の進行状況によって変更することがありえる。 ・授業中の私語やスマートフォン等の電子機器類の使用は禁止する。 ・受講態度に問題がある場合、注意しても守れない学生については退室をしてもらう。							